

第2回まんのう町地域公共交通計画策定に係る協議会 議事要旨

- 1 開催日時 令和5年10月4日（水曜日）14時00分から15時30分
- 2 開催場所 まんのう町役場 3階 大会議室
- 3 出席者
 - <委員> 17名
 - <代理出席> 3名
 - <株GPMO> 2名
 - <事務局> 3名
- 4 欠席者
 - <委員> 3名
- 5 協議事項
 - (1) 地域公共交通計画の作成について
 - (2) まんのう町地域公共交通計画(骨子案)について
 - (3) その他

議事要旨

1. 開会

- ・事務局：開会挨拶と配布資料の説明（省略）

2. 会長あいさつ

- ・会長：挨拶（省略）
- ・事務局：委員の出席状況、議会の成立について報告（省略）

3. 議事

(1) 地域公共交通計画の作成について

- ・事務局：コンサルタント事業者の紹介（省略）
- ・事務局：「地域公共交通計画の作成」資料1の説明（省略）

【質疑】

- ・各委員からの質問なし

(2) まんのう町地域公共交通計画(骨子案)について

- ・事務局：「まんのう町地域公共交通計画(骨子案)」の説明（省略）

【質疑】

- ・会長：通勤・通学において、隣接する市町への流入流出が多いのがまんのう町の特徴と言える。その特徴を6ページの人口分布図に重ねた時、鉄道のネットワークしか記されていない。バス路線も一緒に記されていることで公共交通のネットワーク的な課題が見えてくると思う。そういった意味で鉄道とバス路線が一緒になっている地図はあるか。
- ・事務局：現在、地図は作成していない。鉄道とバス路線が一緒になっている地図を作成する。
- ・会長：人口密度の分布図と鉄道・バス路線のネットワークとを重ねた時の流動状況がわからないと課題が見えてこない。
また、運転免許保有・返納状況(資料19ページ)をみると運転免許保有者も人口と同様に減ってきているが、運転免許保有率は高くなってきている。今後、どのようにマイカーと公共交通機関、マイカー以外の交通手段との連携を図っているのかをみていく必要がある。
- ・会長：今回参加されている交通事業者からそれぞれコメント補足があれば発言をお願いしたい。
- ・委員 A：年間利用者数は、一日あたりの乗客数に限る。塩入駅、黒川駅の期間も利用は少ない状況である。塩入駅はコロナの関係もあるが主に定期券利用の方が多い。おそらく通学で学校に通われる方の定期だと思うが、通学または通勤かは把握できていない。コロナの影響で昨年の令和4年度においては3年から比べると、全体的にお客様が増えている状況である。特に定期、定期外は令和3年から増えている状況である。

- ・会 長： 30 ページのグラフでコロナになった令和 2 年の塩入駅の利用者数が激減している。これは、本当に必要な人が使っているという状況かもしれない。まんのう町の人が JR を何に使っているかをアンケートで少し抑えておく必要がある。また今回のデータで、実際に利用する人がどういう風な課題を持っているか、本数は足りているか、利用したい時間帯に利用できているかなどの問題で、利用しにくくなっているのかもしれないと憶測した。
- ・委 員 B： ことでも JR と同様、コロナの影響でお客様の利用が減少していたが、令和 5 年になって徐々に回復傾向にある。しかし、コロナ以前(令和元年)の乗降は戻ってきてない。

羽間駅のひとつ隣の駅に岡田駅があり、岡田駅は、駅前広場やパークアンドライド駐車場、駐輪場、バスのアクセス等もよい。可能であれば今回の資料に岡田駅も追加してほしい。

また、綾子踊がユネスコ無形文化遺産に選択され、高松方面から見に行こうと思っても鉄道を降りてから加茂神社までなかなか移動ができにくいため、観光を活かす形で交通結節点を見てほしい。
- ・会 長： 岡田駅も住民の方が使われる可能性があるので、岡田駅も追加という形で資料整理をお願いしたい。
- ・事 務 局： 資料の記載範囲として、岡田駅についても整理する。
- ・委 員 C： 岡田駅は高松方面に行く際に利用するため、記載してほしい。羽間駅の駐車場が満車になった場合、岡田駅の駐車場に自家用車を駐める。
- ・委 員 B： 岡田駅の駐車場についてはことでもが管理している。今後は、お客様の利用促進を図りたいと考えており、岡田駅については土地を広げつつ駐車場にできたらと考えており、今後協議する。
- ・委 員 D： 36 ページの運行概要の運行系統については、基本的には通学の生徒の利用がほとんどである。1 と 6 番は、まんのう町での基本的な路線バスである。2 番から 5 番は、落合橋から下福家の区間を運行する路線であり、利用者が少ない状況である。

共通パス券は平成 21 年から開始しており、今のサブスクみたいな形で低額で利用でき、あいあいタクシーと路線バスを利用することができる。

共通パス券は現在 1 ヶ月 3,000 円となっており、方向性も含めて行政サービスの観点と併せて各委員の意見をいただきたい。

41 ページの年間輸送人員の推移は、令和 2 年度に減少して令和 3 年度に徐々に増えているような状態になっているが、実際に乗ってる人数ではなく、定期券や回数券が売れたときの人数を計上したものである。令和 3 年度が増えている理由は、通学の生徒が乗っているため、定期券の数が増えたりすれば、少し年間輸送人員に影響がある。令和 4 年度からは年間輸送人員が回復している。

あと、まんのう町全体マップとして、JR や路線バス、空港連絡バス、ことでん、デマンドタクシーの運行エリアが一覧で見えるような地図があれば見やすい。整理されたデータを踏まえて、この地区はどのように公共交通を使っているのか、ここが少し公共交通の線が弱いのではないかなどがわかる地図があればよい。

76 ページなど「整理中」記載とあるが、おおよそいつまでに提示するのか教えてほしい。

- ・事務局： 次回の協議会を 12 月予定の開催を予定していたが、アンケート調査の結果も同時に提示するため、1 月 17 日を開催予定と考えている。1 ヶ月程度スケジュールが後ろ倒しになるため、スケジュールを最終確認し、次回 1 月には全体のスケジュール感を示したい。

骨子案の「整理中」記載あるところは、現状の整理・課題の整理ができてないと計画策定が進められない。課題の抽出は、次回アンケートを集計後に整理し、各委員に審議していただけるようにする。

- ・委員 D： 全体的な路線図を作る予定はあるか。
- ・事務局： 視覚的に確認できる「まんのう町の公共交通の現状図」を作成する。
- ・委員 E： デマンドタクシーに関しては時間帯でいうと、午前中は病院や買い物で利用している。デマンドタクシー以外の一般タクシーも同様に午前中が混みあっており、夕方については弊社の乗務員不足の問題もあり、全てのお客様には対応できていないと考えており、今後、対応できるようにしていきたい。

また、弊社としては琴平町も営業エリアとしているため、まんのう町から琴平町への行き来は一定数あり、病院や買い物に行っている。広域であれば善通寺市や丸亀市にも行っている。

- ・会長： タクシーの利用実態に関するデータはなかなか出てこないと思うが、よく断っている時間帯や、何人断ったというデータがあると、タクシーでの対応が難しいか否かの判断材料になる。もしもタクシーでの対応が難しい場合があれば、タクシーに変わる別の移動手段での対応を検討する必要があるということがわかる。
- ・委員 F： 12 ページの表中に「その他」とあるが、どのような交通手段があるのか教えてほしい。
- ・事務局： その他の細かな内容までは把握できてない。確認する。
- ・委員 F： まんのう町の住民の方がまんのう町の公共交通機関を利用しながら、琴平町の JR 琴平駅などをどのように利用しているかがわかれば、今後、琴平町の施策にも反映できると思う。
- ・事務局： アンケートでまんのう町の住民が普段使っている駅についても聞いているため、琴平町の駅の利用状況についても整理する。

- ・会 長： 調査対象は、琴参バスの路線も含まれているため、琴平町も入る。それを踏まえて対象エリア、データの出し方を工夫したほうがよいかもしれない。

12 ページの「その他」は、国勢調査のアンケートがマークシート形式になっているため、その他の具体的な交通手段はわからないと思う。

あいあいタクシーは、利用者登録をしている関係上、細かなデータ収集・集計ができています(43～69 ページ)。このデータを基に事務局で課題を抽出してもらいたい。

目次(章)の構成を検討する必要があるのではないか。例えば2章・4章はまんのう町の現状となっているが、第3章は上位・関連計画が記されている。

今回は、本資料を確認しつつ、他に必要な情報や公共交通の問題について意見があれば事務局に伝えてほしい。

(3) その他

- ・各委員からの質問なし

4. その他

- ・事務局： 現在、住民アンケートを作成中で、10月中旬を目処にアンケートの発送、11月上旬・中旬を回答期限と考えている。この住民アンケートを取りまとめ、次回協議会では、本アンケートの報告とともに、公共交通の現状と地方実態の把握、公共交通に関する課題の抽出・改革等などの協議を予定している。
- ・事務局： 次回、第3回協議会は、『1月17日(水)の午後2時から』を予定している。

5. 閉会

- ・会 長： 閉会挨拶(省略)

以上